

ネイチャー・ウォーク

平成23年 月号
2011..x 発行
(通巻第 号)

ECO SAITAMA (財)埼玉県生態系保護協会 部会：自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

冷(ヒヤ)アフター

～ほっつけ田んぼと隼人堀川～

(東武伊勢崎線 東武動物公園駅 ～ JR 宇都宮線 白岡駅)



今回のネイチャーウォークは、「お米づくりをかいま見るウォーク」と題して、実り豊かな「ほっつけ田んぼ」と、先人が汗を流して掘った「隼人堀川」を巡ります。

先日の台風 15 号を引きずったような空模様の中、35 名のみなさんが参加してくれました。春日部支部長、三好あき子さんも参加者として来てくれました！

東武動物公園駅を出発し、「宮代町立笠原小学校」の校舎を横目に歩みを進めます。瓦葺の屋根に、壁や柱には文字が書いてある非常に特徴的な建物でみんな興味津々でした。



宮代町立笠原小学校

→



まずは、最初の目的地のほっつけ田んぼに到着。金色に輝く田んぼはまさに、実りの秋を象徴する景色でした。



コオボネ



ワタラセツリフネソウ

ここで、三好さんがほっつけ田んぼについて説明をしてくださいました。「ほっつけ田んぼ」は「ほりあげ田んぼ」から変形した言葉だそうです。ここで見られる植物についてもわかりやすく解説してくださいました。

今回は、多くの実りを発見することができました。



(写真の実は、左上から時計周りに「サワフタギ」「エノキ」「エビツル」「マテバシイ」)

畦の希少植物や、在来種と外来種の見分け方などを三好さんに教えてもらいました。参加者のみなさんは、「始めて知った。」「そうなんだ!」と、真剣にメモをとったり、目を輝かせながら三好さんの解説を聞いていました。



←埼玉県絶滅危惧種にも指定されている「ホシクサ」をとある田んぼで発見! この田んぼにしか見つからなかったため、みんなで「なぜだろう?」と不思議がっていました。

二つ目の目的地。普段は緩やかな流れの「隼人堀川」も、今回は台風の影響でか増水していました。水辺の生きものの観察を楽しみにしていた方からは、残念がる声もありました。→



お昼まであと少し。と、思っていると…ん？



田んぼに無数の白い塊が、ぽつぽつ…。よく見るとダイサギ・チュウサギなどのサギ類の群れでした。参加者の方からは、5, 60羽はいるのではないかとの声もありました。”

野田のサギ山はこんな感じだったのかなあと、みんなで想像を膨らませました。

ゴールまであと少し。今回は、白岡町総合運動公園でお昼休みです。恒例の認定証授与式では今回、1名の方が認定されました。みなさん、いつもご参加いただき、ありがとうございます。



田園風景を眺めながら歩いた今回のコースは、実りの秋の訪れを存分に感じることができました。

みなさん、お疲れさまでした。